

る。(もちろん選手の疲労もあるから、むやみにイニングを多くすることはできないけれども。)

ゲームの興味という点からすれば、試合の結果がまったく偶然によって決まるのはつまらないし、また「強い」ほうが必ず勝つというのでも味気ないであろう。どの程度のところが最も適当であろうか。それについてはまだはっきりした理論

はないが、1つの問題にはなるであろう。

「スポーツとOR」についてはまだいろいろな問題が考えられよう。とくにここではその戦略的な側面にはまったくふれられなかったが、それについては他の方の稿にゆずりたい。

(たけうち・けい 東京大学経済学部)

■スポーツのOR■

3割打者の条件

門山 允

よく野球で打率をよくするには打数を少なくするほうが有利だといわれているが果たしてそうだろうか？そこで実際のデータで調べてみた。データは1978年のプロ野球から、代表的なバッターとして巨人の王、張本、パシフィックの代表として阪急の福本の3人を取り上げてみた。

この3人の各試合ごとの打数とそのときのヒット数を集計したのがつぎの表である。数字は新聞の記録から拾ったので、公式記録と比べると少し脱落があるが、それはお許し願いたい。

王

打数	ヒット数					計	打率
	0	1	2	3	4		
1	1					1	0
2	10	10	2			22	.318
3	14	23	3	1		41	.260
4	12	21	17	3		53	.302
5	1	2	3	1	2	9	.489
計	38	56	25	5	2	126	.304

張本

打数	ヒット数					計	打率
	0	1	2	3	4		
1							
2	4	1				5	.100
3	14	16	4			34	.216
4	10	27	11	6		54	.310
5	0	10	2	5	2	19	.390
計	28	54	17	11	2	112	.305

福本

打数	ヒット数					計	打率
	0	1	2	3	4		
2	2	2	1			5	.400
3	7	7	5	1		20	.333
4	10	23	23	1		57	.316
5	4	15	10	7		36	.206
6			1	1		2	.417
計	23	47	40	10		120	.323

さてこの表からわかることは、同じように3割打者といってもだいたいパターンがちがうことである。まず福本は典型的に打数が少ない試合ほど打率がよい打者であり、これに反して張本は逆に打数が多いときのほうが打率がよく、定説の逆になっている。王はこの表ではハッキリしないので、2分して打数3以下の試合と4以上の試合とに分けて計算すると、

打数3以下のときの打率=0.2738

” 4以上 ” =0.3230

となつて、これも打数が多いときのほうが打率がよい。

したがって王や張本の場合には打数が少ないほうが打率がよくなるという常識とは逆で、福本は反対に常識どおりのパターンになっている。この3人とも代表的な好打者であるから、どういふパターンがよいということはいえないという結論が導かれる。